

第8回鹿野地域振興会議 議事概要

日 時：令和7年3月4日（火） 午後1時31分～午後3時10分

場 所：鹿野町総合支所 2階 会議室

【出席委員】

岡本洋一、小川義和、長谷川誠一、兼平 恵、砂川重雄、塚本 均、筒井洋平、佐々木千代子、吉井秀三、山名 修、池原恵理、武部夏美

以上12名（敬称略）

【欠席委員】

なし

【事務局】

<鹿野町総合支所>

岡本支所長、小林副支所長兼地域振興課長（併教育委員会事務局鹿野町分室長）、國森産業建設課長、岡田市民福祉課長、宮本地域振興課課長補佐

【傍聴者】

なし

【日 程】

1 開会

2 会長あいさつ

3 議題

- (1) 鹿野町地域未来プラン実施計画（案）について (資料ダウンロード)
 - ・ 公共施設整備の進捗状況について (資料ダウンロード)
 - ・ 気高循環バスの路線変更について (資料ダウンロード)
- (2) 鹿野町地域未来プラン概要版について (資料ダウンロード)
- (3) 鹿野地域振興会議の振り返りについて (資料ダウンロード)

4 報告事項

- (1) 行事経過報告及び今後の予定について (資料ダウンロード)

5 その他

6 閉 会

◎議事概要

3 議題（1）鹿野町地域未来プラン実施計画（案）について

事務局より資料 1、2、3に基づき説明。

・鹿野町地域未来プラン実施計画（案）、公共施設整備の進捗状況および気高循環バスの路線変更の資料を基に説明

【委員】集落活動支援補助金とはどういったものか。

【事務局】これは既存のコミュニティ助成金などの補助金のことです。そういった補助金の周知や申請支援について記載しています。

【委員】公共施設の整備については、運動広場などのコミュニティ施設も協議したほうがいいと思う。

【事務局】この資料は建物に特化した図面ですが、今後は広場も含めて協議していきたいと思います。

【委員】老人福祉センターは指定管理施設でないのか。

【事務局】指定管理施設ですので図面を修正しておきます。

【委員】気高循環バスはJRとの乗り継ぎがうまくできるようにしてほしい。

【事務局】待合の時間ができるだけ少なくなるよう、列車の時刻を踏まえて時刻表を作成したいと思います。

【委員】小鷲河地区から浜村駅に行く場合、支所で乗り継ぐと料金は倍の400円になるのか。

【事務局】400円になります。それに対して路線バスを乗り継いだ場合は、鹿野から浜村までが390円なので合計590円になります。

【委員】宝木線と瑞穂線はどっちの方向に走るのか。

【事務局】気高町と調整する必要があるのですが決まっていませんが、令和8年4月の改正に向けて今後検討していきます。

3 議題（2）鹿野町地域振興未来プラン概要版について

事務局より資料4に基づき説明。

・鹿野町地域振興未来プラン概要版を基に説明

【委員】指定管理とあるがどういった意味か。

【事務局】例えば、株式会社ふるさと鹿野であれば、矢印にある温泉館や山紫苑などの5つの施設が指定管理施設になります。市から各団体へ指定管理を出しているというイメージです。

【委員】概要版はもう少し簡単にできないかななどの意見はないか。このままでいいか。

【委員】いいと思う。

3 議題（3）鹿野地域振興会議の振り返りについて

事務局より資料5に基づき説明。

・地域振興会議検討内容（令和3年度～令和6年度）の資料を基に説明

【委員】地域未来プランを見て、住民が行政サービスを受けるだけでなく、住民自ら行動していくことが大切。プランを知ってもらうことも必要だが、具体的にどう行動するのかが分かればいいと思う。個人的にはどういった方でも一人で暮らしていけるような、みんなにやさしいまちになってほしい。予算がついているから仕方なしにやるのではなく、長期間やっているものでも再検討をして、いいところは残しながら取り組んでいければいいと思う。

【委員】県外から鳥取に移住してきたので、最初は分からないことが多かった。子どもがこじか園と鹿野学園に通っているが、地域の方がボランティアで学校の環境整備をする学校応援団など、多くの方が地域のために尽力されてすごいまちだと思う。歴史あるものはうまく引き継いでいき、今後は生活交通など様々な問題が解決できればいいと思う。

【委員】私は鹿野の中心地から離れた山間地に住んでおり、特に少子高齢化の問題に直面し、このまま集落が維持できるのか危惧している。持続的発展できるよう皆で知恵を出し合っていければいいと思うので、今後も一住民として地域のために頑張っていきたい。

【委員】デジタル化について何度か意見させていただくなど、地域の人たちと一緒に議論ができたことは大変有意義だった。この振興会議で提言された鳥の劇場の整備が実現していることがすごいと感じており、地域の声を上げていくことが重要だと思う。前回の会議には東京からズームで参加させていただいた。ズームであれば地域外の人に参加してもらい意見を聞くことができる。今後は議事録をインスタグラムでシェアするなど、多くの方から意見をもらうことを考えて

ほしい。また、県外の学校では教育の考え方がかなり変わってきているので、いい取り組みはこの地域にも取り入れてほしい。

【委員】鳥の劇場の整備のように個人では難しいことが実現でき、この振興会議の実績となった。未来会議でも引き続き地域の課題解決ができればいいと思う。

【委員】未来会議の委員だけで協議するのではなく、町外の方にも参加いただき一緒に考えていけるような会議になればいいと思う。

【委員】今年、私の集落では亡くなったり施設に入所したり8人もの高齢者がいなくなってしまった。未来会議では、人口減少、生活交通、空き家対策など様々な地域課題を深掘りし、具体的にどうしたらいいのか踏み込んだ議論ができればいい。変えないといけないものは変えていけばいいが、歴史のあるまちなので残すべきものは残していく必要がある。

【委員】50年ほど前に移住して来たが、その時、地域の人が温かく迎えてくれた。鹿野には、若い世代の転入者がたくさん入ってきているし、多くの経験をされた知識のあるOBの方もおられる。こういった方々が地域のことに参加しているので、鹿野は発展的なまちだと思う。この振興会議では気になったことを色々発言させていただいたが、未来会議では若い世代の方にたくさん参加いただき、活発な議論をしていただきたい。もし、昼間の会議は参加できる方が限られるのであれば、開始時間を見直すなどの検討をしてほしい。

【委員】現役で働いていた時は地域のことを全く知らなかった。地区公民館やまちづくり協議会を通して地域のモノや人を知り、更にこの振興会議で地域の行事や団体を知り、地域のことが分かってきた。鷲峯山麓ハーフマラソンを開催するにあたり、たくさんの地域の人に助けてもらった。この地域を維持・発展していくために、子どもたちをはじめ多くの方々に地域の取り組みを知らせてほしいので、未来プランの概要版は地域住民の皆さんに配ってほしい。未来会議に期待することは、紙の情報だけでなく道の駅や交流館のモニターを使い画像や動画で知らせていくようなことをしてほしい。行政だけが地域の振興をするのではなく、地域の人たちができることを考えて実践して欲しい。

【委員】最近気になっていることは老々介護の問題。一人が病気や怪我をした場合、すぐに病院に預けてしまうことで認知機能が低下する人が多い。こういった場合にすぐに入院させるのではなく、地域で預かってくれるような居場所ができない

かと考えている。子どもがいても離れて暮らしている場合には目が届かないので、参考になるような事例があれば教えてほしい。

【委員】 農業委員という立場でこの振興会議に参加させていただいた。周りの人たちが鹿野は城下町や温泉などいいところがたくさんあると言ってくれる。若い時に町外に出たことがなく地域に関わることが少なかったが、60代になって地域のことをよく考えるようになった。最近は人のつながりが希薄になっているので地域の人で支えあって生きることが必要だと感じている。年寄りの知識と若者の行動力で地域を発展させるような未来会議にほしい。秀でた人に参加してもらい、発言できるような機会があればいいと思う。

【委員】 これまで全国のいろいろなまちで暮らしてきたが、自治会や地域のことにはほとんど参加してこなかった。17年前に鹿野町に住んでから初めて自治活動に参加している。少子高齢化が進み若者と高齢者との交流ができなくなってきているので、地域のグループなどで話せる場ができればいいと思う。

4 報告事項（1）行事経過報告及び今後の予定について

事務局より資料6に基づき説明。

【委員】 ハスの植替えは町外の人でも参加できるのか。

【事務局】 どなたでも参加できるので是非ご参加ください。